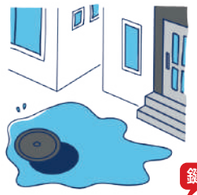
B 内水 ハザードマップ 稲田～下川西地区

内水氾濫時の避難の心得

- 内水氾濫は短時間の間に発生します。急な豪雨が降ってきたら早めに2階以上の高い場所に移動して雨がおさまるのを待ちましょう。
- 地下室や地下街、用水路などの近辺は危険ですので離れた場所へ避難をしましょう。
- 外へ歩いて避難する際は被災しないよう足元に注意し、マンホールや川から離れた道を通りましょう。

内水氾濫とは

市街地などに降った雨が排水路や下水管の雨水処理能力を超えた際や、雨で川の水位が上昇して市街地などの水を川に排出することができなくなった際に、市街地などに水が溢れる浸水害のことです。

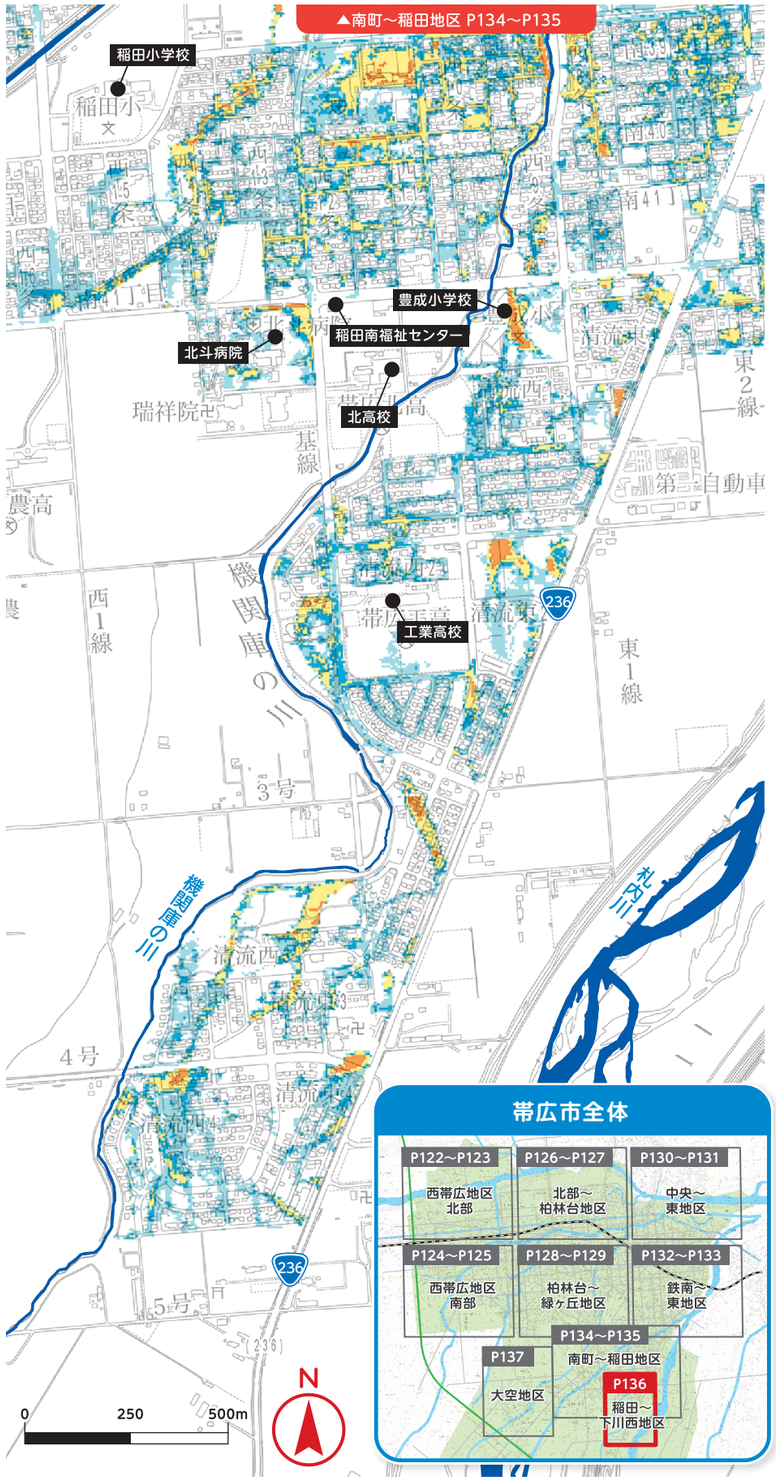


異常水圧による蓋の外れを防止するため、「鍵付きマンホール」の設置を進めています。

浸水想定区域凡例

- 0.5m以上の浸水想定範囲
- 0.2～0.5m未満の浸水想定範囲
- 0.1～0.2m未満の浸水想定範囲
- 0.1m未満の浸水想定範囲

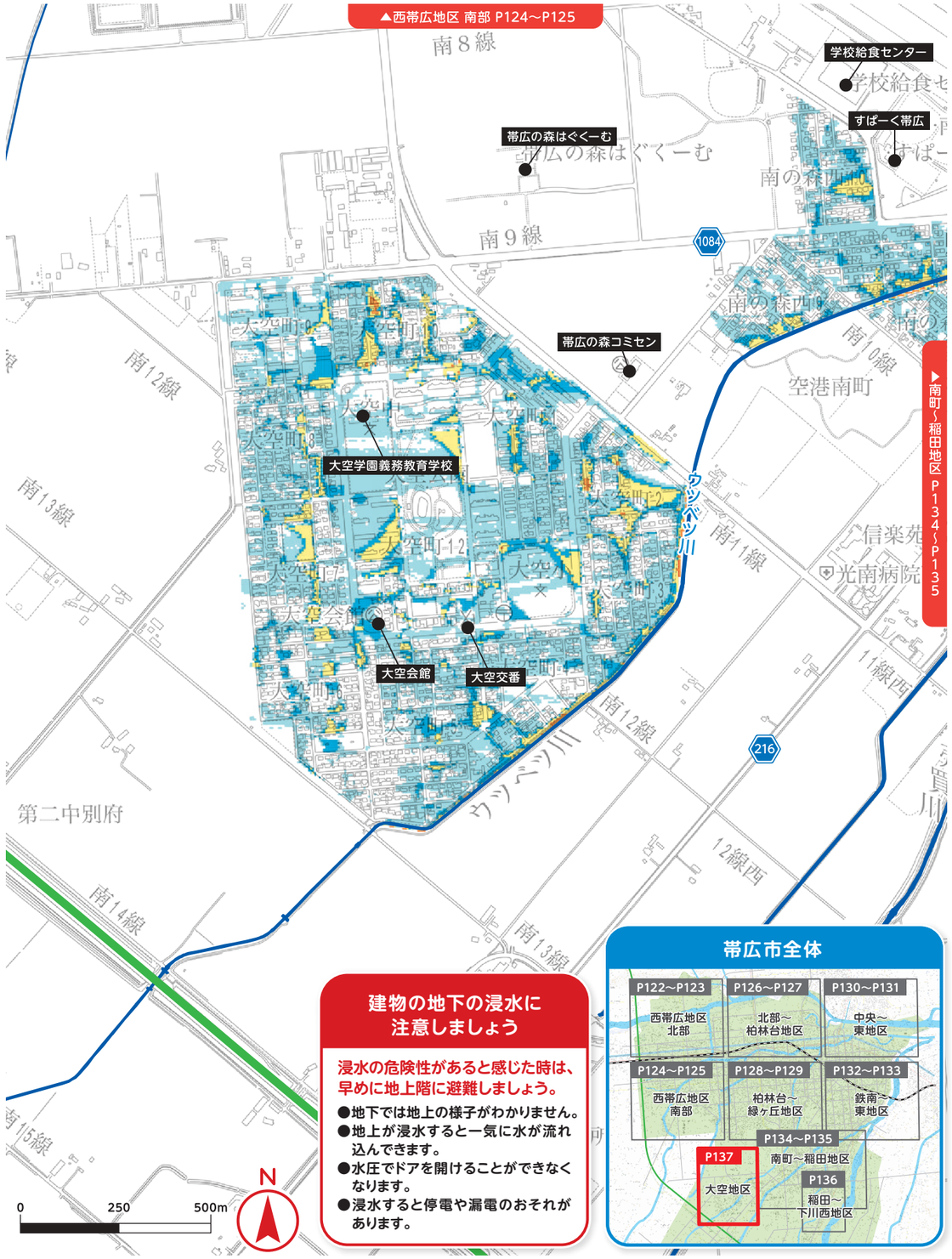
▲南町～稲田地区 P134～P135



帯広市全体

B 内水 ハザードマップ 大空地区

▲西帯広地区 南部 P124～P125



建物の地下の浸水に注意しましょう

浸水の危険性があると感じた時は、早めに地上階に避難しましょう。

- 地下では地上の様子がわかりません。
- 地上が浸水すると一気に水が流れ込んできます。
- 水圧でドアを開けることができなくなります。
- 浸水すると停電や漏電のおそれがあります。

帯広市全体

▶南町～稲田地区 P134～P135